

元高校球児が闘志満々

2年ぶり深紅の大旗つかむ



4459
片岡 雅裕
かたおか まさひろ

1986(昭和61)年2月11日生まれ、39歳。高知県幡多郡出身。中学時代から野球をはじめ、中村高では二塁手。卒業後、陸上自衛隊勤務を経て、101期として2007年11月、まるがめでデビュー(6着)。主な同期は篠崎仁志(福岡)、守屋美穂(岡山)。10年3月のまるがめで初優勝。GIは10年鳴門地区選で初出場、17年7月、びわこ65周年で初優勝。SGは13年津チャレンジカップで初出場、22年浜名湖メモリアルで初優勝。通算優勝33回(うちGI1回、SG2回)。全国ボートレース甲子園は2023年の尼崎大会で優勝している。

2年前の優勝を振り返ってみて

はっきり覚えてはいないけど、足は最初から悪い感じではなかったと思います。これでGIIなのかという強いメンバーばかりだったので、優勝できたのはうれしかったですね。あと開会式がおもしろかったのは覚えています(笑)

野球の思い出と甲子園への思い

(中村)高校ではセカンドを守っていました。甲子園に行きたい気持ちは、それはあったけど、当時は明德義塾高や高知高がすごく強くて…。決勝まで行けば夢を見られるかなとは思っていましたが、結果はベスト8でした。でも、中学から高校までの6年間をしっかりと野球に打ち込めたから、いまきちんと目標を持って生活できていると思っています。野球のおかげでレーサーとしても精神面とかはかなり役立っていると思います。

高知県代表としてファンへのメッセージ

黒潮に乗ったカツオのようにバンバン飛び跳ねて活躍したいと思いますので、応援よろしくをお願いします(笑)

今年前半の調子は

最近ではベラが合っていないで出し切れていない。いまのエンジンになってから試行錯誤している感じ。好みの形にベラを叩いたら下がったりするし、気持ちよく乗れていないです。たぶん、昔の感覚で乗っていたらダメなんだと思います。自分が乗り方を変えていかないと…。結果を出した良い時の感覚を忘れて走るのは難しいけれど、ベラも乗り方もブラッシュアップしていかなければと思います。

びわこ水面のイメージは

いいイメージはありますね。2017年7月の65周年でGI初優勝した思い出の水面上でもあります。うねりも気にならないし、おもしろい水面だと思っています。独特の水面だけど、江戸川とかも嫌ではないですね。



5096
上原 峻
うえはら りょう

1995(平成7)年7月11日生まれ、29歳。沖縄県那覇市出身。小学2年から野球をはじめ、興南高、中部大でも野球部。125期として2019年11月、平和島でデビュー(6着)。2023年2月、多摩川ルーキーシリーズ初優勝・初優勝。同期には昨年のSGオールスターを制した定松勇樹(佐賀)がいる。

レーサーになったきっかけ

野球部だった興南高(沖縄)のとき、先生に「ボートレーサーという職業もある」と聞いたのが最初です。中部大(愛知)でも野球を続けるつもりだったので、聞き流していました。でも大学で限界を感じて進路を考えたとき、先生の言葉を思い出しました。

成長の理由ときっかけ

(デビュー当初は)養成所の荏林教官から「迷ったら握れ」との言葉を頂いて、握ってばかりいました。その後、徐々に差することも始めて勝率が5点くらいまで上がりました。でもこのままではA級に上がれないと思い、スタートを考えるようになったらダッシュからでも1着が取れるようになりました。

課題は

調整力ですね。それと2コース戦の勝率が悪い。握ってばかりだったので、やはり差するのが苦手。そこを克服したいですね。

野球の甲子園への思いは

中学3年生のとき、興南高が甲子園で春夏連覇したんです。それで興南高に進学したんですが、レベルがすごかった。部員は150人くらいで、みんな体もすごかった。レギュラーはもちろんで、ベンチ入りもできなかった。僕のいた3年間はチームとしても甲子園にいけなかった。甲子園は遠かったですね。

特別戦初出場

SGに出場している選手も出場される。プロに入ったときもスピードの違いを感じたけど、またスピードの違いを感じるんだろうと思います。でもめちゃくちゃ楽しみです。

沖縄代表として

沖縄の人にボートレースを知ってほしいというのが一番の目標なんです。そのためには自分が活躍すれば、という思いはあります。旋回力はまだまだ未熟でびわこも苦手だけど、何とか爪痕を残せるようにしたいです。

沖縄の星が特別戦初登板

GI 全国ボートレース甲子園とは

GII 全国ボートレース甲子園 歴代優勝者



高校野球の「夏の甲子園」をイメージし、全国47都道府県のボートレーサーが出場するGII競走で、2019年に浜名湖ボートで第1回大会が行われた。選出方法は、A1級、A2級およびB1級の選手で、過去1年間(前年5月～同年4月)の競走で選手を出身地区別に区分し、都道府県ごとに勝率上位5名(あっせん辞退等を除く)のうちから選出された47名と、当該施行者が希望する5名の52名。当該都道府県に対象選手がいない場合、同地区の選手が選ばれる。優勝賞金は500万円。優勝者には深紅の大優勝旗が贈られるとともに、翌年のプレミアムGI・BBCTーナメントとSGクラシックの出場権が与えられる。

第1回優勝は石川県代表の今垣光太郎(福井支部)。

"甲子園"ならではのスペシャルゲスト! 元プロ野球選手トークショー

7/8(水)

立浪 和義さん
片岡 篤史さん
トークショー

▶場所: 芝生広場特設ステージ
▶時間: 第6R&第9R発売中

7/12(土)

真中 満さん
トークショー&舟券予想会

▶場所: 1階イベントステージ
▶時間: 第7R～第12R発売中

7/13(日)

関本 賢太郎さん
トークショー

西崎 幸広さん
トークショー

▶場所: 1階イベントステージ
▶時間: 第6R&第9R発売中

▶場所: 1階イベントステージ
▶時間: 第8R&第10R発売中